

# 首相に原発政策提言

## 自民・村上小委員長

### 汚染水にコンクリ壁

自民党福島原発事故  
究明に関する小委員会  
の村上誠一郎委員長  
(衆院愛媛2区)は4

日、首相官邸を訪れ、  
東京電力福島第1原発  
の汚染水対策や今後の  
原発政策を盛り込んだ  
提言書を安倍晋三首相  
に提出した。安倍首相  
は「臨時国会ではこの  
問題が大きな話題にな

る。一生懸命やらない  
といけない」と意気込  
みを語ったという。

提言では汚染水対策  
について、政府方針の  
凍土方式を「多大な費  
用が長期にわたってか  
かる」としてコンクリ  
ート壁などによる遮断  
を提案。原発政策では、  
安全対策などに費用が  
かかりすぎる原発の廃

炉を求めている。

村上氏は会談後、記  
者団に「福島事故の一日  
も早い収束には予算と  
知恵を集中させる必要  
がある。首相にも問題の  
所在は再認識してもら  
えたと思う」と述べた。

提言には当初、使用  
済み核燃料の最終処理  
法が確立するまで原発  
の新規建設を凍結する  
ことを盛り込む予定だ  
ったが、党内の反発を  
受け見送った経緯があ  
る。このことに村上氏  
は「今後の原発再開や

新設をどうするかは最  
終処理が一番大きな問  
題。この課題が解決で  
きなかったら、どちら  
にせよ前には進めな  
い」と指摘した。

(多田良介)